

気管支喘息について No5



## 話題の新薬 グーフイス錠

### 胆汁酸トランスポーター阻害剤

#### 喘息の治療法

喘息の治療は、4つのステップに分かれています。治療の開始時に喘息症状と治療状況を総合してどの治療ステップかが決定されます。

#### ① 治療ステップ 1

**基本治療:**吸入ステロイド薬 (低用量)

LTRA (ロイコトリエン受容体拮抗薬)

テオフィリン徐放製剤

**追加治療:**LTRA 以外の抗アレルギー薬

**発作治療:**短時間作用型β2刺激薬



#### ② 治療ステップ 2

**基本治療:**吸入ステロイド薬 (低～中用量)

長時間作用型β2刺激薬

LTRA (ロイコトリエン受容体拮抗薬)

テオフィリン徐放製剤

#### ③ 治療ステップ 3

**基本治療:**吸入ステロイド薬 (中～高用量)

長時間作用型β2刺激薬

LTRA (ロイコトリエン受容体拮抗薬)

テオフィリン徐放製剤

長時間作用型抗コリン薬

#### ④ 治療ステップ 4

**基本治療:**吸入ステロイド薬 (高用量)

長時間作用型β2刺激薬

LTRA (ロイコトリエン受容体拮抗薬)

テオフィリン徐放製剤

長時間作用型抗コリン薬

抗IgE抗体

経口ステロイド薬

**追加治療、発作治療は①～④共通**

EA ファーマは、胆汁酸トランスポーター阻害剤「グーフイス錠 5mg」(一般名:エロビキシバット水和物)を発売した。本剤は、腸末端部の上皮細胞に発現している胆汁酸トランスポーターを阻害し、胆汁酸の再吸収を抑制することで、大腸管腔内に流入する胆汁酸の量を増加させる。胆汁酸は、大腸管腔内に水分および電解質を分泌させ、さらに消化管運動を亢進させるため、本剤の便秘治療効果が発現すると考えられる。通常、10mgを1日1回食前に経口投与する。既存の下剤と異なる作用機序を有することから、慢性便秘症に対する治療選択肢の一つとなると期待されている。

薬価 5mg 1錠=105.8円

### 副作用情報 ロセフィン静注用

太陽ファルマから販売されているセフェム系抗生物質製剤の「ロセフィン静注用」は、直近3年10か月の副作用報告であって、因果関係が否定できない副作用として、「精神症状の関連症例」が11例(うち死亡0例)報告された。そのため重大な副作用の項に「精神神経症状」が追記された。

### 認知症「支えあい」補助

厚生労働省は、認知症の人同士が互いに相談し合う支援活動などへの補助制度を創設する方向で検討に入った。認知症の診断後にふさぎ込む人は多いが、症状が軽い初期の段階で受けられる支援は限られている。当事者同士の「支え合い」を広げることで、不安を取り除き、自宅などで元気に暮らせる環境を整える狙いがある。2019年度予算の概算要求に盛り込むことで調整している。厚労省研究班の調査によると、認知症の人の数は12年の推計で462万人だった。団塊の世代が全て75歳以上の後期高齢者になる25年には、最大730万人に達すると見込まれる。

